

アカテガニの森

小網代の夏

今年もめぐってきた

アカテガニ大冒険の季節

潮に流される

サギにさらわれる

そんな危険をおして

波にむかう かあさんガニたち

だからまた こうして

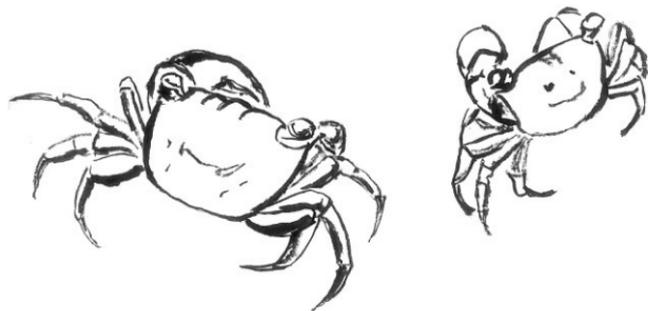
見守らずにはいられない

時に大きな声をかけて

これが夏

わたしの

アカテガニの夏



針の月

細くするどい月

だんだんに浮かびあがってきた

その月をめざして

岸に集まったアカテガニ

たちはだかる波と風を前に

寄り添い立ちすくむ 若い母ガニたち

今日 月は黒く満ちる

アカテガニには見える

陽を照らさないまん丸い月

夏の夜

さえざえと新月

アカテガニの森

アライグマの被害のせいで
森に少なくなつたという アカテガニ

今年

大事な放仔の夜

人間たちは

長靴をとおしてなお冷たい海水の中

波打ち際から沖へ離れ

岸におりてくる母さんガニを見守つた
じいつと しずかに

日没の薄闇の中

小さな甲羅のうごきに目をこらす

打ち上げられたアマモの上を

細い脚がすすむ気配に

耳をすます

懐中電灯はつけないで、まだ

もう少し待って

小網代の森のシンボルだから

ずっと守っていききたい

アカテガニ

人間たちは

ざわざわと賑わい豊かな森をおもつて

海の中に 立ちつくす

